

武蔵野教育學論集第12号： 目次,執筆要項,編集後記,奥付

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2022-03-18 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://mu.repo.nii.ac.jp/records/1696

武蔵野 教育学論集

第 12 号

目 次

小学校国語科における授業についての一考察 ～文学的な文章の読みを通して～	山 崎 淳	1
小学校理科における気体センサー活用と科学的な概念形成に関する考察	樋 口 昇	11
主権者教育としての小学校社会科防災学習の授業開発 —第4学年「災害に強いまちづくりを実現するためには」の場合—	佐 藤 克 士	23
図画工作題材における「大きさ」についての一考察2 ～立体的な造形活動・造形遊びについて考える～	大 杉 健	39
絵本の内容と外国語活動の単元を紐づけた活動方法の提案 -『Let's Try! 1』Unit4 I like blue.の単元と絵本を用いた活動-	伊 藤 撰 子	51
新教育指針(1946)第一分冊(全四分冊)に関する考察 —現代教育の源流を探る—	上 岡 学	63
自己有用感・自己肯定感を高めるカリキュラム・マネジメント	長 田 和 義	75
中華人民共和国の初等教育における自然災害に関する学習内容の分析(1) —義務教育小学「科学」課程標準及び準拠版教科書を事例として—	王 禹 軻・佐 藤 克 士	81
インクルーシブ保育における多様性の受容プロセスの検討	義 永 睦 子・長谷川 浩 美	95
中間に生成する	生 井 亮 司	107
◆◆◆ ◆◆◆		
薬師寺の佛足跡歌碑の研究II —碑面下半部に刻された書とその内容について—	廣 瀬 裕 之・漆 原 徹・遠 藤 祐 介	132

ISSN 2432-7735

THE BULLETIN OF MUSASHINO UNIVERSITY

Faculty of Education

No. 12

CONTENTS

A Study of Learning Japanese in Elementary Schools ~using Literary Texts in the Classroom~	YAMAZAKI Atsushi 1
Consideration on Gas Sensor Utilization and Scientific Concept Formation in Elementary School Science	HIGUCHI Noboru 11
Developing Social Studies Lesson Plans for Disaster Prevention Learning as Sovereign Education: A Case Study of the Fourth Grade in Elementary School "In Order to Achieve Disaster-Resistant Urban Development"	SATO Katsushi 23
A Study on "Size" of the work in the Art and Handcraft -Three-dimensional modeling Activity and "Zoukeiasobi"-	OHSUGI Takeshi 39
Activities Using a Picture Book in Elementary English Education: From the Textbook <i>Let's Try! 1</i> Unit4 "I like blue."	ITO Setsuko 51
Guidelines of Japanese New Education (1946) Vol. 1 (of 4)	UEOKA Manabu 63
Curriculum Management for Increase Senses of Self-Usefulness and Self-Affirmation	OSADA Kazuyoshi 75
An Analysis of Learning Content on Natural Disasters in Primary Education of China I: A Case of Compulsory Education Elementary Standard in "Science" and Associated Textbooks	WANG YUKE/SATO Katsushi 81
A Case Study of the Process of Accepting Diversity in Inclusive Early Childhood Education and Care	YOSHINAGA Mutsuko/HASEGAWA Hiromi 95
Generating in between	NAMAI Ryoji 107
◆◆◆ ◆◆◆	
A Study of Buddha Footprint <i>Waka</i> Inscription in <i>Yakushi-ji</i> Temple II: About the <i>Sho</i> and its Contents Engraved on the Lower Half of the Monument	HIROSE Hiroyuki/URUSHIHARA Toru/ENDO Yusuke 132

MUSASHINO UNIVERSITY Institute of Education

2021

武蔵野教育學論集執筆要項

2013年10月10日制定
2016年7月14日改正
2019年7月11日改正
2021年9月1日改正

1 内容

- (1) 教育及び教職研究に関する学術論文
- (2) 教育学部所属教員の専門に関する学術論文
- (3) その他、編集委員会が認めたもの

2 投稿資格

学術論文または制作ノートに投稿できる者は、以下の者とする。

- (1) 教育学研究所研究員及び客員研究員
- (2) 教育学部専任教員
- (3) 共同研究の場合は、(1) または、(2) を筆頭者とし、他所属の研究員の執筆も可
- (4) 教育学研究所から依頼した者
- (5) 大学院生
- (6) その他、編集委員会が認めた者

3 倫理規定

執筆に際しては他人の著作権の侵害、名誉毀損、データの捏造、人権の侵害等の問題を生じないように十分に配慮しなければならない。倫理的な配慮が必要とされる学術論文等については、投稿者が所属する機関等の「倫理審査委員会」で承認を得たものに限り、学術論文等において、その旨を明記しなければならない。なお、万一掲載された執筆内容が他者の著作権を侵害したと認められた場合、投稿者がその一切の責任を負うものとする。

4 公開

印刷冊子、および、武蔵野大学のホームページ上等で電子データとして公開する。

5 投稿方法

- (1) 投稿を希望する者は、指定された期日までに所定の「武蔵野教育學論集投稿申込書」を提出しなければならない。
- (2) 原稿は、指定された期日までに所定の書式で作成した完成原稿（紙面に打ち出したもの）とそのデータを提出しなければならない。
- (3) 写真や図表は鮮明なものを使用し、完成原稿中にその位置を明示すること。

6 投稿規定

A 学術論文

- (1) 原稿は未発表のものに限る。
- (2) 原稿は1人1編に限る。但し、共同研究に関しては、編集委員会で審議する。
- (3) 原稿は、横書き及び縦書き両方可とし、題目に英訳を併記すること。
- (4) 同号の制作ノートを投稿した者は、原則として、学術論文を投稿することはできない。

(5) 字数等

①頁数・字数

10 ページ程度（注、図表、写真、その他、を含む）を原則とする。

*横書きの書式は、1 ページ 43 字 × 38 行とする。

*縦書きの書式は、1 ページ 30 字 × 25 行の 2 段組とする。

*図表、写真は適宜文字数に換算する。

*図表、写真などが多いため他の原稿と比べて著しく費用がかかる場合、編集委員会は執筆者に負担を求めることが出来る。

②用語及び文体等

現代仮名遣いを原則とする。外国語を仮名書きにする場合は、カタカナとする。

③書式

別表の書式例参照のこと。

(6) 校正

原稿は完成原稿を提出するものとし、校正段階では最小限の字句の訂正にとどめるものとする。校正は原則として執筆者が行い、校正済みの原稿は、編集委員会が指定した期日までに必ず返却しなければならない。

B 制作ノート

(1) 研究作品写真を用いた制作ノートを投稿することができる。

(2) 研究作品は、原則として、その年度内に制作（展覧会等での発表を含む）したものとする。

(3) 同号の学術論文を投稿した者は、原則として、制作ノートを投稿することはできない。

(4) 研究作品の題名・制作年などを記し、鮮明な画像（写真又はデータ）を提出するものとする。

(5) 頁数等

①頁数

4 頁以内【研究作品掲載（カラー）1 頁、及びその解説等 3 頁以内（白黒）】とする。

②その他

* 学術論文に準ずる。

(6) 校正

* 学術論文 (6) に準ずる。

7 掲載の採否・順序等

(1) 掲載の採否は、査読を経て、編集委員会が決定する。

(2) 編集委員会は、原稿の書き直しを求めることが出来る。

(3) 掲載順序などの編集は編集委員会が行う。

(4) 執筆者には、紀要 5 部、別刷 20 部を無償で配布する。共同研究の場合も各執筆者に別刷 20 部ずつを無償で配布することを原則とする。それ以上の部数を希望する場合は、必要部数をあらかじめ編集委員会に申し込まなければならない。その場合、超過部数に関わる費用は執筆者の負担とする。

8 その他

その他の事項については、編集委員会で決定する。

本要項は、「武蔵野教育学論集」第 12 号の執筆・編集から施行する。

*編集後記

11月から年末ごろにかけては、東京のコロナ感染者も30人ぐらいで落ち着き、このまま終息に向かうかと思っていたが、オミクロン株が日本国内でもいよいよ猛威を振るい始めその割合も高くなる。1月7日のコロナ感染者数は急激に増え、東京が922人、沖縄は1414人となり、1月8・9両日とも東京は1200人を超え、第6次感染の始まりとなり、1月19日には東京だけで7377人、22日には東京だけで1万人を超えてしまった。コロナワクチン2回接種済みでも感染する人が続出。3回目接種が推奨されることとなったが、接種券はまだ到着せず。昨夏、東京五輪が無観客で開催、今年2月の北京冬季五輪は。一日も早い疫病退散を願いたい。

ここに第12号をお届けします。ご執筆いただきました先生方に感謝申し上げます。

(紀要編集委員 廣瀬・高牧)

武蔵野教育学論集 第12号

2022年3月10日発行

編集 武蔵野教育学論集編集委員会

発行 武蔵野大学教育学研究所

〒202-8585 東京都西東京市新町1-1-20

電話 042-468-3290

印刷 株式会社 創文

〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町13-1

電話 03-5643-3320

【武蔵野大学教育学部における紀要発行の歴史】

通号	名 称	発行年月日	発 行
1	教育研究所紀要 第1巻第1号	2012・3・1	教育研究所
2	教職研究センター紀要 第1巻第1号	2013・3・1	教職研究センター
3	第2号	2014・3・1	教職研究センター
4	第3号	2015・3・1	教職研究センター
5	第4号	2016・3・1	教職研究センター
6	武蔵野教育学論集 創刊号	2017・3・1	* 教職研究センター
7	第2号	2017・8・15	教育学研究所
8	第3号	2017・9・1	教育学研究所
9	第4号	2018・3・1	教育学研究所
10	第5号	2018・9・30	教育学研究所
11	第6号	2019・3・1	教育学研究所
12	第7号	2019・10・1	教育学研究所
13	第8号	2020・3・1	教育学研究所
14	第9号	2020・10・10	教育学研究所
15	第10号	2021・3・10	教育学研究所
16	第11号	2021・10・10	教育学研究所
17	第12号	2022・3・10	教育学研究所

* 2017・4・1より教育学研究所設立により紀要名を先行して改称